

関東あだたら大玉の会通信

故郷の思い出

神奈川支部 武田 忠秀

皆様、暫くです。武田はまだ、生きております。当年取って80才に成ってしまいました。

薬及び医者等でのお陰様で長生きし、現役で過ごしております。会社は社員に譲り、社員の手下お手伝いしております。

世間では、コロナコロナと大変ですね。皆様も気を付けてください。グローバルな世界ではコロナが蔓延し何か、我々人間社会をあざ笑いしているようです。

私たちを育んでくれた大玉村。育った頃は玉ノ井村でまさかこんなに文明が発達するとは、夢また夢の世界のようです。

道路は全舗装になり、村にスーパー、コンビニ等があります。但し、村の自然ロケーションは其のまま。安達太良山の姿を見るとほっとします。

昔、本宮町に行く長い砂利道を歩いてとても長く感じたものです。今は車で4〜5分で通過。自然を満喫する暇も無い世界。

大玉の会が発足して25年も過ぎつつあります。

この会は、人・物・情報の交流を基本として、「入ってよかった、大玉会」と昔話のコミュニ

ケーションを取り合いながら会員の親睦を持ち、互いに発展してきました。

また、故郷の発展に協力できればと、役員会等で色々と議論したものでした。

大いなる田舎・我が村は、大きな自然に恵まれ、また、いつか行ってみたい場所で世界的に有名なペルーのマチュピチュ村の初代村長を輩出した村、世界で最初に友好都市を調印した村でもあります。野内与吉氏の功績を感じようと、私も家内と一緒に平成27年度マチュピチュ村ミッシェンツアーに参加させていただきました。

現地では大変な歓迎をいただきました。そこで、提案があります。倉山の登山口駐車場の所に紅葉を植樹し野内与吉記念公園としたりどうでしょうか。それぞれ紅葉を持ち寄り植える場所だけ村で整備してもらおう。其れが皆のレガシー。

これからも、長生きし微力ながら村発展のため貢献したいと思います。

まとまりの無い小学生のような作文で失礼いたしました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

Vol. 9 最終回

エスディーゼース

おおたま × SDGs

世界が目指すSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、最終回は17個目のゴールとともに今私たちにできることを考えてみましょう。

ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう

17 パートナーシップで目標を達成しよう



新型コロナウイルス感染症は、私たちがこれまで経験したことのない状況をもたらしています。日々の暮らしを一変させ、様々な問題が世界中で起こっています。こうした中、多くの企業や団体、村民の皆さんから様々なご協力をいただきながら、「新たな日常」に向けた取組みがはじまっています。SDGsは国や行政だけの取組みでは達成できません。わたしたち一人ひとりの心がけ、さらには人と人との協力が不可欠です。

村でも苦境に立つ事業者への支援、飲食店利用の応援、子どもたちの学習環境の整備など、感染症対策を講じながら、地域の活力を維持できるよう取組んでいきます。新型コロナウイルスの終息はまだ見通すことが難しい状況ではありますが、村民の皆さんもできる限り地元のお店を利用するなどご協力をお願いします。

苦しい時こそ、私たちお互いがエールを送り、支え合い、「誰一人取り残さない」社会をつくっていきましょう。

～「新しい日常」でもSDGsを意識してみよう～

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>運動、バランスの良い食事、十分な睡眠を意識して、免疫力を高め感染症に負けない体をつくろう。</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>こまめな手洗いとこまめな節水を心がけよう。洗面台やトイレなど水回りは清潔にしよう。</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>ステイホームではエアコンやテレビなど電気の使用が増えます。省エネ、節電を心がけよう。</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>働き方改革について真剣に考えてみよう。テレワークだけでなくできることから始めてみよう。</p>
<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>いじめや差別は絶対にしない。不確かな情報に惑わされることなく行動しよう。困ったことがあれば相談して。</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>村内のお店を積極的に利用して、地産地消に心がけよう。テイクアウトやデリバリーも試してみよう。</p>